

ノートルダム寺院 1962 20F フランス



1962年 真下慶治 パルテノン神殿にて

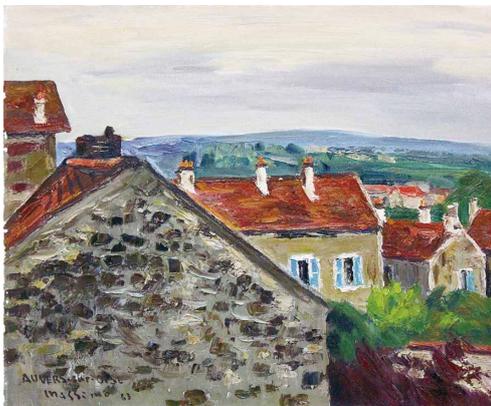
1962年(S37) 初めてヨーロッパを訪れた時の作品を展示いたします。

エジプト・ギリシャ・イタリア・スペイン・フランス等訪れた先々で、鉛筆・淡彩で描いた、スケッチブック二冊程、又はがきサイズのスケッチなどいろいろあります。ヨーロッパの最後のパリでは、滞在中にイーゼル・木枠・キャンバス・絵具等調達してパリの街角・オーヴェールではゴッホの墓など現地で描いた作品です。モンマルトル付近で描いていた時は、パリの絵描きが寄ってきて“その場所は自分が描いてる場所だから”と言うような事をフランス語で言われ、言葉が分からないような顔をして描き続けた作品だと話していました。当時イタリアを訪れたときには、まだ戦争の爪痕の土囊が積んであったようです。永い歴史の中で、ヨーロッパは当時と変わらない風景がまだまだ残っているでしょう。

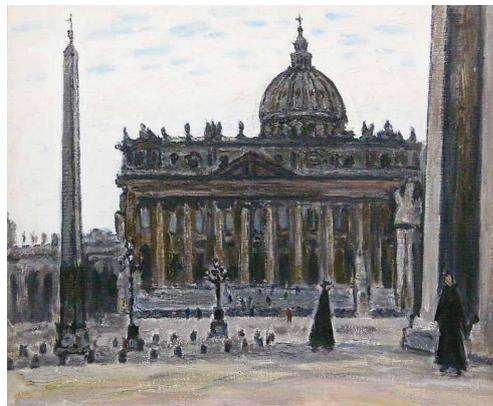
企画展示室

1962年 真下慶治 滞欧展

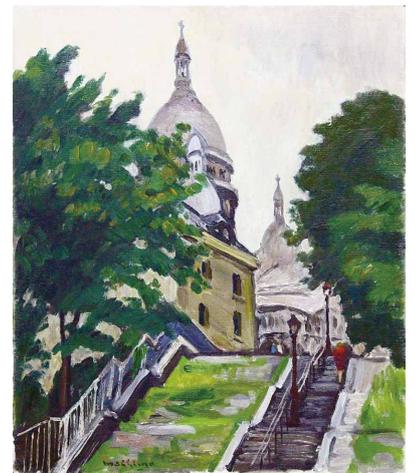
2016 9月9日(金) - 10月11日(火)



オーヴェールの風景 1962 8F フランス



パチカン宮殿 1962 10F イタリア



モンマルトルの丘・サクレル寺院 1962 8F フランス



最上川美術館
真下慶治記念館